

巻 頭 言



総合情報処理センターの一年

総合情報処理センター長 西 田 眞

朝、出勤と同時にパソコンを立ち上げ、メールの確認を行い必要な返事を送信する姿は、大学内で日常的に見られる光景です。情報機器は大学の業務を遂行する上で必要不可欠な設備となり、その多くはネットワークを介して繋がっております。さて、業務を遂行する上で、ネットワークの存在を意識している人はどのくらい居るでしょうか。殆どの方は、ネットワークの存在を意識すること無く過ごされていると思います。情報機器とそれを有機的に接続しているネットワークは、電気や道路と同じ社会基盤であり、意識せずに使えて当たり前の時代です。このため、ネットワークは繋がって当たり前、安全に運用されていて当然と思われることでしょうか。しかし、日常のメンテナンス・管理・運用システムが適切でないと、当たり前の環境を保つことはできません。秋田大学内の情報システムやネットワークを、安全に維持・管理・運用するため、総合情報処理センターが日々努力していることに、隅にで結構です、想いを馳せていただければ幸いです。

さて、平成19年度の総合情報処理センターにおけるトピックを幾つか紹介いたします。

- 1) ファイアウォールシステム更新：老朽化していたシステムを12月に更新し、最新のファイアウォールシステムを導入しました。これにより、セキュリティの向上が図られ、今まで以上に安全に利用できる環境整備を行いました。
- 2) 耐震補強工事の実施：教育文化学部4号館の改修に併せて、総合情報処理センターの耐震補強工事を夏休み期間中に実施しました。耐震補強工事期間中、総合情報処理センターを利用する際に大変ご不便をお掛けしました。教職員や学生の皆様方の協力に対して、御礼申し上げます。
- 3) センター内の環境整備：耐震補強工事に伴い、壁の移動や増設が行われました。工事による粉塵の影響防止や実習スペースの確保のため、サーバ設置場所や実習室の移動を行い、利用環境整備に努めました。また、耐震補強工事による振動の影響や老朽化に伴い、排水関係の配管でトラブルが頻発し、配管やトイレ改修も実施しております。実習室や生活環境等が改善されましたので、一度ご覧下さい。
- 4) 実習設備の増強：昨年度にコンピュータシステムを更新した後、実習室利用者数が急増し、時間帯によっては利用を諦める学生も出る事態となりました。そこで、実習室として一部屋を確保し、パソコンを20台増設しました。実習環境がより充実しますので、学生の皆さま

んの積極的な活用を期待しております。

5) ネットワーク設備の概算要求：学内ネットワークは耐用年数を超しており、いつ何時重大なトラブルに見舞われても不思議でない状況です。このため、学内ネットワークを概算要求いたしました。残念ながら、20年度には予算を獲得できませんでした。そこで、21年度概算要求に向け文部科学省へ事前説明に出向くなど、予算の獲得に努力しております。概算要求獲得に対する、皆様方のご支援をお願いする次第です。

6) センター職員の転任：総合情報処理センターの若手ホープである竹内淑怜さんが、平成20年4月に、弘前大学へ転任することになりました。秋田大学に取り戦力的な損失となりますが、竹内さんの母校でのご活躍を祈念しております。

最後となりますが、任期を1年残し、3月末をもって総合情報処理センター長を退任することとなりました。4月からは同じキャンパスで工学資源学部長を努める予定です。1年間と短い期間ではありましたが、この間、佐々木准教授には大変お世話になりました。また、藤田専門職員、大友事務補佐員、正木技術職員、小林技術職員、竹内技術職員を始めとして、多くの方にお世話になり、無事努めることができました。紙面を借りて、厚く御礼申し上げる次第です。